

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	レセプト審査支払手数料			事業コード	1672
所属コード	043500	課等名	健康保険課	係名	給付係
課長名	高橋 邦夫	担当者名	佐倉 友季絵	内線番号	3115
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1
	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード	5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード	2
予算費目名 (H26)	国民健康保険費特別会計 02 款 01 項 05 目 審査手数料（001-01）			
特記事項 (H26)				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	昭和 53 年度
根拠法令等 (H26)	国民健康保険法第 45 条の 5 及び岩手県国民健康保険団体連合会規約第 11 条の 3, 岩手県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払業務規程第 20 条			

(2) 事務事業の概要

岩手県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払業務規程により，診療報酬支払いにかかるレセプト審査を国保連に委託しており，その審査手数料の支払いを行うものである。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

国民健康保険法及び岩手県国民健康保険団体連合会規約による。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

人口の高齢化や離職者の増加に伴う被保険者数の増加や，医学の進歩による高度な診療の提供などにより，レセプトの件数も増加し，なおかつ内容は複雑になってきている。専門的な機関によるレセプト審査を経た上で適正に医療機関へ支払う必要性が増している。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）対象（誰が、何が対象か）

診療報酬明細書（レセプト）

＊診療報酬明細書（レセプト）とは、保険医療機関・保険薬局が受診者一人ごとに毎月一枚作成し、各月の診療内容と保険適用となった医療費等が記載されている。

（2）対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 診療報酬明細書(レセプト)枚数	件	1,095,350	1,174,135	1,167,816	1,110,100	1,153,917
B						
C						

（3）26 年度に実施した主な活動・手順

①レセプトの審査及び医療費支払い業務を岩手県国民健康保険団体連合会に委託する。

②市は、毎月レセプトの審査件数に応じた手数料を岩手県国民健康保険団体連合会に支払う。

（4）活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A レセプト審査手数料 (1枚あたり)	円	60	58(ただし、H24.4 月支出分は 29 円, H24.9 月～H25.3 月支出分は 23 円)	51	50	50
B レセプト枚数	枚	1,095,350	1,174,135	1,167,816	1,110,100	1,153,917
C						

（5）意図（対象をどのように変えるのか）

レセプトの内容を確認した上で、適正な医療費請求に対する支払いをする。

（6）成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A レセプト審査支払手数料	☐ 上げる ☐ 下げる ☒ 維持	千円	65,721	41,361	59,549	55,505	57,695
B	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0	0
	④一般財源	千円	65,721	41,361	59,549	55,505	57,695
	⑤その他()	千円	0	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	65,721	41,361	59,549	55,505	57,695
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	24	24	24	24	24
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	96	96	96	96	96
計	トータルコスト A+B	千円	65,817	41,457	59,645	55,601	57,791
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている

理由：最も効率的な機関に委託しているので、結果に結びつくと考えられる。

② 市の関与の妥当性

妥当である。（法定事務である）

③ 対象の妥当性

現状で妥当である（法定事務である）

④ 廃止・休止の影響

影響がある（効率的なレセプト審査ができないため）

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

向上余地がない（実施できる機関が他にないため）

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。

理由：岩手県国民健康保険団体連合会総会において1件あたりの単価が議決されており、公平である。

(4) 効率性評価

レセプト審査を岩手県国民健康保険団体連合会に委託することにより、専門機関での審査が可能となり、またそれにかかる審査手数料単価も、委託している県内各市町村や各国民健康保険組合合意のもとであり、現状の取り扱いのままでよい。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	健康づくり・医療の充実	コード	4
	小施策（推進項目）	健康保険制度の健全運営	コード	4-5

（2）改革改善の方向性

特になし

（3）改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

特になし

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

（2）全体総括・今後の改革改善の内容

レセプト審査やこれに伴う支払は，県内全市町村が国保連に委託して実施しており，21年度からは，レセプトの電子化が促進され，月間の縦覧点検などを国保連が行うようになり，より効率的な点検が行われることとなった。

保険者の審査支払事務は国保連と支払基金（社保分）が行っているが，国保連のレセプト点検の効果が支払基金より低いことから，市で実施している再審査の精度を上げ，国保連へのプレッシャーを与えることが重要になってくると考えます。